

一関文化センター自主事業等開催に伴う  
新型コロナウイルス感染拡大防止のための事業実施要領

令和4年9月20日に改定のあった「劇場等の感染拡大予防ガイドライン」や一関市の感染拡大防止の方針に基づき、下記のとおり対策を講じて事業を実施する。

## 1、公演実施に向けての事前準備事項

### (1) 入場制限、企画内容

- ① 公演の企画にあたって、密集を回避する方策や密な状況が発生させない工夫の導入
  - ・ 開場、休憩時間の延長  
開場時間：通常30分間としていますが、公演により45～60分程度で実施する。  
休憩時間：公演の内容により休憩の取れない場合があるが、  
休憩が取れる場合はトイレの混雑緩和に配慮した時間を設ける。
  - ・ 来場者による大声での歓声、声援、唱和などが無い場合は、必要となる感染防止策を総合的に講じた上で座席を空けない配席とする。
  - ・ 座席はできるだけ指定席とする。自由席にする場合は席の移動を制限し、座席を共有しない。
  - ・ 座席の最前列は舞台前から十分な距離を確保する。(水平距離で概ね2m程度)
  - ・ 開場前の待ち時間、休憩時などの一定の距離の確保(概ね1m)
  - ・ 感染リスクが高まるような演出(声援を促すなど)を行わない。

### (2) イベント来場者・来場予定者に対し、事業の実施と併せて次の事項の周知を徹底する。

- ① 感染拡大防止のための注意事項
  - ・ 咳エチケット、マスク着用(必須であること)、手洗い・手指消毒の励行
  - ・ 自宅で検温をしてきていただくこと
  - ・ 37.5度以上の発熱や咳・咽頭痛などの症状のある方、または体調不良のある方は、ご来場を控えていただくこと
  - ・ 来場時・開演前の待ち時間を含め、一定の距離の確保(概ね1m)
  - ・ 会場内での来場者同士の接触、会話を控えていただくこと
  - ・ ブラボーなどの歓声や声援を控えていただくこと
  - ・ 十分な換気を行うため開場時、休憩時に扉を開放して行うことにより客席内の室温が適温にならない場合があるため、寒暖に配慮した備えを行っていただきたいこと
  - ・ 座席の移動を禁止すること(自由席、指定席どちらも)
  - ・ 出待ちや面会を控えていただくこと
  - ・ 接触確認アプリ(自治体独自の通知アプリ、QRコードを活用したシステムを含む)の活用

- ② 以下の方には入場をお断りし、チケットの払い戻しを行うこと
- ・ ご自宅での検温の結果、37.5 度以上の発熱または平熱より 1 度高い場合、咳・咽頭痛などの症状がある方、体調不良のある方
  - ・ 入場時の検温の結果、37.5 度以上の発熱または平熱より 1 度高い場合、咳・咽頭痛などの症状がある方、体調不良のある方

## 2、公演当日の対策

### (1) 周知

- ・ 「1 - (2)」の内容を再度周知する。

### (2) 来場者への対応

- ・ 検温の実施
- ・ 入場時マスクを着用していないお客様にはマスクの着用を求め、販売できるマスクを準備する。
- ・ ブラボー等の大声での声援を行わないことを徹底し、拍手のみとしていただくよう周知する。大声を出すお客様がいた場合、個別に注意を行う。
- ・ 密集状況が生じないように、休憩時のトイレ・物販の混雑を緩和するよう予め掲示・アナウンス等により周知する。
- ・ 出待ち、面会を控えていただくよう呼び掛ける。
- ・ 開場時、休憩時に扉を開放して換気を行う。

### (3) 当日券販売、物販など

- ・ パンフレットなどの物販を行う場合、人と人との適切な距離をとって整列させる。
- ・ 従事者はマスクの着用と手指の消毒を徹底する。
- ・ 対面で販売を行う場合、透明ビニールカーテン等により購買者との間を遮蔽する。

### (4) 感染が疑われる方が出た場合の対応策

- ・ 感染が疑われる方が発生した場合、速やかに別室へ隔離を行う。
- ・ 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底する。
- ・ 速やかに、医療機関および保健所へ連絡し、指示を受ける。
- ・

## 3、公演後の対策

- ① 感染拡大防止のため、会場の消毒作業を実施する。  
(2回公演の場合は1回終了ごとに行う)
- ② 仮に新型コロナウイルスの感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。

## 一関文化センターの大・中ホールをご利用の皆様へ

### 物品の消毒について

- ・マイク類はマイク専用の消毒スプレー「MCR-zero」（エタノール濃度 50vol%以上）を使用して利用前、開演前、終演後のほか、必要に応じて消毒を行います。
- ・ピンスポット用のインカム用ヘッドセットは舞台袖で保管のうえ使用前後に消毒を行います。
- ・パイプ椅子や譜面台、客席イスなどは、ご利用終了後に主催者様にて消毒作業をお願いしております。（消毒液は文化センター、拭き取るキッチンペーパー等は主催者様が用意ください）
- ・ご利用中に気になる箇所は、お貸出しする消毒液を用いて適宜消毒を行ってください。

### ピアノのご利用について

- ・鍵盤は、専用クリーナーの「キークリン」を使用して舞台スタッフが除菌作業を行います。  
（消毒するタイミングの目安：利用前、開演前、休憩中、終演後のほか必要に応じて行う）
- ・ピアノには直接消毒は出来ないため、ご利用になる際には手指消毒の徹底をお願いします。  
その際、手にアルコール成分が残っているとアルコールの成分が鍵盤に付着し、ひび割れ等が発生する恐れがありますので、必ず手が乾いたことをご確認の上演奏してください。

### 吹奏楽での使用について

- ・楽器演奏時に発生する水滴等の処理は、布やペーパーなどを用いて処理してください。

### 声楽(合唱)での使用について

- ・感染防止の観点から、距離をとるほどリスクを下げるすることができます。  
マスクを着用しない場合は「歌手間の距離は、前後2m、左右1m」の確保をお願いします。  
（この距離の確保が難しい場合は、マスクを着用すること。）
- ・歌唱位置から指揮者や鑑賞者までの距離について、2mの距離を置くようにお願いします。
- ・マスク以外のフェイスシールドやマウスシールドは、医学的にも感染予防上の有効性が十分に確かめられていない事や、大きさや形状によって性能が大きく異なる可能性があることから、現時点では感染対策として使用することは勧められません。